

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

下水道維持課

実施方針	Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	施策目標	2 地震に対する防災・減災を推進します	施策	① 管路施設における耐震化の推進
------	----------------	------	---------------------	----	------------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【施策目標】	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせるにより計画的な地震対策に取り組みます。							
どんな問題を解決するか【施策】	新設する管きよは、各種耐震対策指針に基づき、可とう性継手を用いるなど耐震性の強化を図ります。一方、既に埋設されている重要な管きよ、(避難所からの汚水を受ける管きよ、緊急輸送道路下にある管きよ、河川や軌道を横断している管きよ)については、優先的に管更生などの耐震化を進めます。また、緊急輸送道路下にあるマンホールのうち、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定されたマンホールについては、優先的に浮上防止対策を行います。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	①総合地震計画に基づき緊急輸送道路である県道川口上尾線、国道122号線において横断污水管渠525mの更生工事を実施します。 ②国道298号線において、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定された14箇所のマンホール浮上防止工事を実施します。							
期間	平成31年4月 ~ 令和2年3月							
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額			決算額			執行率	
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	264,732	0	264,732	254,232	0	254,232	96%
	工事費	264,732		264,732	254,232		254,232	96%
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費	3,555	3,555		3,555	3,555		100%	
どういう成果を達成するか【成果指標】	①横断污水管渠525mが更生された状態。 ②14箇所のマンホールにおいて浮上防止の工事が実施された状態。							

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内容								
中間評価 □	上半期何をどのように執行したか【現状把握】	①②目標工事について設計書を作成し、請負契約を行った。								
74点	下半期改善すべき点は何か【改善目標】	①②予定どおり工事発注が行えたので、工期内に工事を完了させる。								
	どのくらい進んだか【進捗度】	<table border="1"> <tr> <td>執行(契約)事業費</td> <td>238,678千円</td> <td rowspan="2">事業進捗度</td> <td>自己評価</td> <td>B 予定通りの成果を上げた</td> </tr> <tr> <td>予算執行率</td> <td>82%</td> <td>評価者結果</td> <td>B 予定通りの成果を上げた</td> </tr> </table>	執行(契約)事業費	238,678千円	事業進捗度	自己評価	B 予定通りの成果を上げた	予算執行率	82%	評価者結果
執行(契約)事業費	238,678千円	事業進捗度	自己評価	B 予定通りの成果を上げた						
予算執行率	82%		評価者結果	B 予定通りの成果を上げた						
終了時評価	どういう成果を達成したか【達成状況】	①県道川口上尾線、国道122号線において横断污水管渠523mの更生工事を実施した。 ②国道298号線において、14箇所のマンホール浮上防止工事を実施した。								
74点	次年度に解決すべき点は何か【次年度解決策】	次年度以降においては、総合地震計画の第2期がスタートするが、耐震診断や実施設計を含め、予定している計画目標を確実に施工できるよう適切に準備を行っていく。								

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり~ない	1 ほとんど~ない	中間	終了	
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						5	5	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						4	4	
中間	18	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						5	5
終了	18	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						4	4
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						4	4	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						4	4	
中間	14	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						2	2
終了	14	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						4	4
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						4	4	
	合目的性	水道利用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						4	4	
中間	17	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						4	4
終了	17	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						5	5
予算	利益	水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか						2	2	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか						2	2	
中間	11	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか						3	3
終了	11	成果	成果指標を上まわっていますか						4	4
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						4	4	
	タイムコスト	時間=コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						4	4	
中間	14	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						4	4
終了	14	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						2	2

5 事後評価

指標				R1	R2	R3	
指標名	汚水管渠更生工事(地震対策)	単位	m	目標値	525	112	300
算出式・根拠				実績値	523		
指標名	マンホール浮上防止工事	単位	基	目標値	14	-	-
算出式・根拠				実績値	14		
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。) A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出していない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない	評価者結果
達成度	B	予定通りの管延長、マンホール基数の耐震化工事を完了する事ができた。	B
効率性	B	現場の状況については困難な状況の箇所が多かったが、真摯に解決に努めたことにより目標を達成することが出来た。	B
有効性	B	管更生工事を行ったことにより、確実に管渠の耐震性能、耐久性が上がり、マンホールについても浮上しにくくなる措置を行うことが出来た。	B
説明責任	B	工事を行う区域の住民へはチラシや直接訪問により事前説明を行い、通過車両等についても工事看板により内容の表記を行った。	B
組織学習	B	複数ある管更生の工法について組織内で連携、研究し、適切に施工する事ができた。	B
総合評価	B	予定通りの管延長、マンホール基数の耐震化工事を完了させ、防災減災対策を推進した。	B
			次年度方針 現状維持で継続